

- 1 主題名 勤労の意義 4－（5） 関連項目 4－（8）
資料名 『橋をかける心』出典「熊本の心」中学校

2 主題について

（1）ねらいとする内容項目について

本主題は、学習指導要領の視点4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の内容項目（5）「勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神を持って、公共の福祉と社会貢献の発展に努める。」を受けて設定した。また、関連項目として東陽町の歴史的な関わりから（8）「地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。」も位置付ける。

中学2年生は、将来への希望が固まりつつある時期である。勤労の意義を理解することは、生徒たちにとって、今後充実した社会生活を送っていくために必要なことと考える。また、これからの時代を生き抜いていく生徒たちに、郷土の偉人である橋本勘五郎の思いに触れることで、自分たちのふるさとに誇りをもち、自ら進んで郷土や社会のために貢献できる人に育ってほしいと考え、本題材を設定した。

（2）生徒の実態

本学級は、男子8名、女子8名、計16名の学級である。明るく活動的で、男女とも仲が良い。小学校の頃より東陽町の石工・石橋について学習を進めてきているが、1名だけ中学校入学時より本校区に転入した生徒がいる。本時の内容から、主題に関わる事前アンケートの結果は下記のとおりである。

- （1）橋本勘五郎を知っていますか。（知っている15名、知らない1名）
- （2）具体的に知っていることはどんなことですか。
- ・石橋をかけた人・種山の石工の一人・種山の石工のリーダー
 - ・東京の日本橋も手がけた
- （3）私たちの身近にある石橋について感じていることを書きなさい。
- ・石だけで橋ができているのがすごい・川を渡ったり、生活が便利である
 - ・作り方や壊れないところがすごい
 - ・自然いっぱいのところがあり、自慢できる
- （4）学校生活で協力することと言えば、どんなことですか。
- 大きな行事・体育大会・文化祭・修学旅行・団体行動など
- （5）協力するとき大切だと思うことは何ですか。
- ・譲り合う気持ち・できなくて困っている人を助ける気持ち
 - ・相手を思いやる気持ち・自分勝手にしない・みんなで分担する
 - ・みんなの意見を尊重する・意見をまとめること
- （6）働くことは大切なことである。（とてもそう思う11名、そう思う5名）
- （7）清掃活動や奉仕活動には、積極的に参加したいと思う。
- （とてもそう思う4名・そう思う11名・あまり思わない1名・そう思わない0名）

上表の調査結果から、橋本勘五郎について、転入してきた生徒以外は理解しており、東陽町

の石橋についても生活に根付いている様子がうかがえる。また、様々な場面で協力することの大切さを感じていることが分かる。今後は生徒会改選を経て最上級生となっていく中で、自覚を持たせ、東陽中学校の生徒としてのスクールプライド、郷土に対する誇りにつなげていけるように進めていきたい。

(3) 資料について

本資料は、東陽町に点在する美しい石橋をはじめ、熊本県下でも有名な通潤橋でその名を知られている肥後種山の石工たちの石橋にかけの思いを綴ったものである。石工たちが、常に自然に対する畏敬の念をもち、自然に逆らわずに石橋をかけていく姿の中には心打たれるものがある。また、石と石が支え合って美しいアーチを描く姿の中に、人と人が支え合っていくことの大切さを感じることもできる。自分の仕事に責任を持ち村人のために一途になって働く石工たちの「心」をくみ取りながら、勤労の貴さを重んじ、奉仕の精神を持って自ら進んで取り組む意欲や実践的態度を育てたい。

(4) 指導にあたって

導入では、写生大会の絵を活用して東陽町にある石橋を提示し、改めて「郷土の誇り石橋」を意識させる。本資料は、資料名にあるとおり、石工たちの「橋をかける心」に焦点を当てて指導することに留意したい。展開前半では、石工たちがどのような思いで橋をつくったのかに焦点を当て、石工たちの様々な思いに気づかせたい。展開後半では、現在も東陽町にお住まいの橋本勘五郎の子孫の方にお聞きした話と併せて、郷土への思いを感じ取らせたい。終末では、高齢者との交流学习や職場体験学習などの自分自身の経験と重ね合わせて、自分自身を振り返るようにしたい。

(5) 人権教育の視点

- ・互いに他の人の考えや意見を認め、尊重し合う雰囲気をつくる。

(6) 研究テーマとの関連

本題材の指導にあたっては、「研究主題」及び「研究の視点」を踏まえ、次の点に留意したい。

【研究主題】

豊かな心を持ち、生き生きと活動できる東陽中生徒の育成
～「熊本の心」と地域の人材の活用をとおして～

(研究の視点3 自己表現を伸びやかにできる人間関係づくり)

- ・生徒たちが、自分たちのこととしてとらえやすくするため、授業内容を工夫する。
- ・個人の意見をワークシートによく書き込んだ後に、班で友だちの意見を聞きながら、さらに自分の意見を深めていくようにする。

3 指導計画

	時間	内容
事前指導	朝読書	「布田保之助の心」 くまもとの心 小学校3・4年 「橋をかける心」 熊本の心 中学校
	帰りの会	心のノートP. 108～109 「考えよう『働く』ということ
本時の学習	道徳	「橋をかける心」 勤労の意義4-(5)
事後指導	帰りの会	・心のノートP. 110 「自分の体験で感じたこと、考えたこと」 ・橋本さんへのお礼の手紙

4 本時の学習

(1) ねらい

- ・ 勤労の意義を理解し、自ら進んで社会のために貢献しようとする態度を育てる。
- ・ 地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、社会の発展に尽くした先人や高齢者への感謝の念を深め、郷土の発展に努めようとする態度を育てる。

(2) 本時の展開

過程 (時間)	学 習 活 動 (形態)	教師の発問・指示 予想される生徒の反応	指導上の留意点	備考
導入 (5分)	1 本時の学習への意欲を持つ。 (一斉)	○東陽町にある石橋のよさを改めて考える。 ・石だけでできている ・自分の家の近くにある。 ・アーチの形が美しい。	○写生大会の絵を見て地域の石橋のよさを再確認させる。	石橋の絵
展開 (40分)	2 資料「橋をかける心」を読む。 (1) 教師範読を聞く。 (部分) (一斉) (2) 内容を確認する。 ・系図 ・自然への畏敬 ・経費のこと ・チームワーク 3 石工たちの心を考える。(個人→班) 石工たちはどんな思いで橋づくりに打ち込んだのでしょうか。【①人間理解 ②価値理解】 (1) 自分の意見をまとめる。 (2) 班で意見交換する。 (3) 班で出た意見をまとめて発表する。	○石工たちがどんな思いで橋づくりをしたか注目しながら読みましょう。 ○石工の気持ちが伝わってくる場所に線を引きましょう。 ・どんな大水にも壊れない橋づくり。 ・村人の役に立ちたい。 ・みんなが安心して渡れる橋に。 ・自然に逆らわないようにする。 ・安い経費で丈夫な橋をつくる。 ・人と人が協力すること。 ・村人のために、社会のために取り組むこと。	○林七、三五郎、勘五郎までの流れを押さえる。 ○「自然をあなどるな」という言葉に視点を当てる。 ○経費を安く抑えるよう心を砕いていた様子に着目させる。 ○「人の和」を重んじたことをとらえさせる。 ○自分の考えを持つことが難しい生徒には、先ほどの内容から選び、意見を言えるようにする。 ○友達の見解に賛同したり、自分の意見を付け加えたりしながら考えを深めていくようアドバイスする。	資料 ワークシート ホワイトボード ペン
	4 勘五郎の子孫である橋本さんの話を聞く。 (一斉)	・勘五郎は、石工という仕事に誇りを持っていた。 ・たくさんの方が喜ぶような仕事をするってすばらしい。	○橋本さんからお聞きした話から、石工という仕事への思いと東陽町に対する思いを感じ取らせる。	ラジカセ CD
	5 自分自身の経験を振り返る。(個人) 職場体験学習などで働いたときや学校・学級のために貢献できたことを思い出し、その時の気持ちを書きましょう。 【③自己理解、④自己発見・希望】	・喜んでもらえてよかった。 ・がんばってよかった。 ・結構きつかった。	○自分の生活を振り返りやすい言葉をかける。 ○感想を数人に発表させ、「他人のためにできることをしたい」という思いを高めることができるようにする。	
終末 (5分)	6 教師の説話を聞く。 (一斉)		○今日の授業を振り返って、これから学校生活で周りの人のためになることを実践していこうという意欲を持たせる。	

(3) 評価

勤労の意義と協力しながら仕事を進めることの大切さを理解し、自ら進んで社会のために貢献しようとする気持ちをもつことができたか。

第3学年1組 道徳学習指導案

日時 平成25年9月11日(水)5校時
場所 東陽中学校 3年1組教室
指導者 東陽中学校 教諭 木本誉子

- 1 主題名 日本人としての自覚・伝統継承 4—(9) 関連項目 4—(8)
資料名:「熊本スピリッツ」 出典「熊本の心」

2 主題について

(1) ねらいとする内容項目について

本主題は、学習指導要領の視点4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の内容項目(9)「日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する」を受けて設定した。また、関連項目として東陽町とのかかわりから(8)「地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める」も位置付ける。

中学3年生では、自分の進路を考え、将来への希望を考え決定していく時期である。日本のよさや伝統を大切にすることは、将来この地で、また故郷を離れ、日本人としての自覚を持って社会を歩んでいくために必要なことである。また、これからの時代を生きていく子どもたちに日本人として誇りを持ち、自然豊かな東陽町を愛する心を持って、社会の中で育ってほしいと考え本題材を設定した。

(2) 生徒の実態

本学級は、男子17名、女子12名、計29名の学級である。明るく元気で、男女の仲もよい。また、地域の方との触れ合う経験があり、地域で行われる行事などにも参加している。本時の内容から、主題に関わるアンケートの結果は以下のとおりである。(回答28名)

- 1 小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)を知っていますか? 知っている2名、知らない26名
○どのようなことを知っていますか? ・名前を聞いたことがある
- 2 熊本県の良さと言えばどのようなことを思い浮かべますか?
・阿蘇のカルデラ ・豊かな自然 ・水や空気おいしい ・熊本城 ・優しくて明るい人が多い
- 3 東陽町のよさといえばどのようなことを思い浮かべますか?
・生姜が有名 ・自然が美しい ・石橋などの歴史がいい ・親切な人が多い ・伝統芸能がある
- 4 日本人や熊本県人の良さといえば、どのようなことを思い浮かべますか。
・人柄がいい ・思いやりがある ・親切 ・責任感がある

上記の結果から小泉八雲については知らない生徒がほとんどで、知っているも名前を聞いたことがあるくらいである。また、日本や自分の住んでいる町については、イメージが良く、文化や人柄を大切にしていることがうかがえる。

(3) 資料について

数々の苦難を乗り越えながら、自己の理想を求めたハーンは、外国人でありながら日本と日本人を深く愛した文学者である。日本に英米の文化を紹介するとともに、日本の理解者として日本を広く世界に知らせた一人でもある。

ハーンは3年間の熊本在住で熊本の美徳を次々と発見したが、その一つが「熊本スピリッツ」と呼んだ「簡易・善良・素朴」の熊本精神であり、これはあるべき日本の理想像でもあった。

本資料では、ハーンが美徳として称讃した「熊本スピリッツ」に対する思いを話し合うことで、わが国の伝統のすばらしさを再認識し、日本人としての自覚を深めさせたい。

(4) 指導にあたって

生徒の実態から、小泉八雲の日本に対する思いを知るとともに今後も日本人としての誇りを持ち、伝統を継承しようとする意欲を高め、事後における地域に住む高齢者との交流への実践意欲と、今後の進路選択につなげていきたい。

導入では、アンケートをもとに、日本や熊本のよさを発表させ、学習に対する意欲と関心を高めたい。

展開前半では、来日前から来熊直後までのハーンの心情の変化をとらえさせるとともに、熊本での生活におけるハーンの心情を話し合うことで、ハーンの思いに気づかせ、「熊本スピリッツ」に対するハーンの思いに共感させたい。

展開後半では、これまでの自分を振り返らせ、ハーンの思いに照らし合わせながら自分を見つめ直し、国民としての自覚や自国の伝統や文化の大切さを再認識し、自分の住む町を愛する心を養うことにつなげていきたい。

終末では、日本人としての自覚を持ち、伝統を継承しようとする意欲を高め、東陽町の歴史や良さを再確認し、今後の高齢者との交流などへの実践意欲に結び付けたい。

(5) 人権教育の視点

- ・互いに他の人の考えや意見を認め、尊重しあう雰囲気作りに心がける。
- ・他国の良さを認めながら、日本の良さに気づかせる。

(6) 研究テーマとの関連

本題材の指導にあたっては、「研究主題」及び「研究の視点」を踏まえ、次の点に留意したい。

【研究主題】

豊かな心を持ち、生き生きと活動できる東陽中学生徒の育成
～「熊本の心」と地域の人材の活用をとおして～

(研究の視点3 自己表現を伸びやかにできる人間関係づくり)

- ・多くの人の意見を聞きながら自分の意見を持ち、考えを深めていくようにする。

3 指導計画

	時間	内 容
事前指導	英語・学活	東陽の良いところについてニコラス先生の話聞く。
本時の学習	道徳	「熊本スピリッツ」 日本人としての自覚・伝統継承4-(9)
事後指導	総合的な学習の時間	進んで高齢者との交流を行う。

4 本時の学習

(1) ねらい

- ・日本人としての自覚を持って国を愛し、日本の精神文化についての理解を深め、その価値を継承しようとする態度を育てる。
- ・地域社会の一員として郷土の発展に努めようとする態度を育てる。

(2) 本時の展開

過程 (時間)	学習活動 (形態)	教師の発問・指示 予想される生徒の反応	指導上の留意点	備考
導入 (5分)	1 熊本や日本のよさを発表する。(一斉)	○日本や熊本の良さはどのようなところでしょうか。 ・歴史がある ・自然が美しい ・親切である	○国を思う気持ちに関心を向けさせる。	アンケートの結果
展開 (40分)	2 資料を読む(一斉) (1)ハーンについて知る (2)日本や熊本に対するハーンの影響を確認する。(個人)		○ハーンが日本のどのような点に良さを感じていったのかを考えながら、資料を読ませる。	写真CD ワークシート
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ハーンは、日本のどんなところに深く心をひかれたのでしょうか。 【①人間理解】 </div>			
	3 これまでの自分の生活を振り返る。(個人)	・誰に対しても親切 ・礼儀があるところ ・古い日本の良さ	○発表を通して自分の中にある日本人の良さに気づかせる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分が普段行ったり、目にしたりしている日本や日本人の良さを出してみよう。 【①人間理解③自己理解】 </div>			
	4 熊本スピリッツにこめたハーンの思いを考える。(個人・班)	・あいさつを返してくれる ・自然が豊か ・ゴミを拾った ・責任感が強い	○講演会での語りかけや「知られぬ日本の面影」というタイトルに着目させる。	
5 これからの自分を考える。	・西欧の文化のまねではなく、古い日本の良さを大事にしてほしい ・日本の良さがをこれからも続くようにしてほしい	○自分の将来や今後行われる高齢者との交流などにつなげて考えさせる。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これから自分はどのようにしていこうと思いますか。 【④自己発見・希望】 </div>		・歴史や文化を大切にしてい ・親切な気持ちを持ち続けてい		
終末 (5分)	6 本時のまとめ (一斉)	○教師の話を聞く	○今後の学習につなげる。	

(3) 評価

日本人の美徳を理解し、継承していこうとする意欲が高まったか。